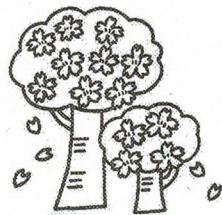


## 2月定例議会

## 非正規雇用から正規雇用への転換は進んでいるか？

民報  
おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢大手町三丁目 59  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

2月定例議会・予算特別委員会において、日本共産党議員団は雇用の問題について取り上げています。県議会では千田美津子県議が、市議会では千葉敦議員が行った質疑について概要を紹介いたします。



千田みつ子県議

千田美津子県議は、安定的な雇用の促進と

求職者支援策として、県内における正社員の新規求人数はどのような状況か。また、生産性向上による非正規雇用から正規雇用への転換を促進すべきと指摘してきたがどう進んでいるかと質しました。

## 正社員への転換は

2563人

雇用推進課長は、

①岩手労働局が取りまとめた正社員の新規求人数は、令和5年1月の合計は7048人で、昨年と同水準となっている。コロナ禍前の令和2年1月の6119人と比較すると929人増加している、

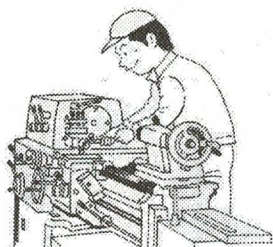
②非正規雇用から正規雇用への転換について、生産性の向上による正規雇用への転換は重要

であると認識している。「いわて

で働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革運動」の展開とか、DXの推進の支援により、企業の生産性の向上を促し、非正規労働者の正社員への登用などの雇用、労働環境の向上を促進している、

③安定的な雇用の確保のため、企業や経済団体等に対し、国のキャリアアップ助成金を活用するなどにより、非正規雇用労働者の正社員転換とか、待遇改善に努めるよう、岩手労働局や市町村と連携して要請している、

④ハローワークを通じた正社員転換数は、平成29年度から令和3年度までの5年間で2563人となっていると回答しました。



工業団地に向かう車で渋滞している桜木通り  
(江刺総合支所西通り)



千葉敦市議

千葉敦議員は、今でも江刺の工業団地付近では、朝夕通勤時に大きな交通渋滞が発生している中。さらにフロンティアパークⅡができれば、約1400人の雇用が増え一層の渋滞が想定されると強調しました。働く人も市民も迷惑

## 地元企業の雇用確保対策が必要でないか？

奥州市では、フロンティアパークⅡに加えて、胆沢地域の広表工業団地の整備と新工業団地の検討が始まっています。奥州市の工業団地だけでなく、近隣の北上市や金ケ崎町にも大きな工場が立地・誘致されています。工業団地増設で、企業立地が増えいくと、地元中小業者の雇用の部分も吸収されてしまうことや新卒者の採用がままならないという声が地元中小業者の間に広がっています。

## 伴走型で支援していく

千葉敦市議は、地元中小業者の人材確保についての不安を解消するような支援をしていかなければ、工業団地はよかつたが、地元企業が衰退し市民生活に影響が出かねない。対策を講じる必要があるとして当局の見解を質しました。

## 工業団地通勤時の交通渋滞対策を！

担当部長は「人口プロジェクトの中で、市全体の大きな課題と認識している。部局横断的に取り組み、道路拡幅や右折レーンなど、関係部局と調整している」と述べました。

## 大きな課題だと考えている

## 日本共産党演説会

日時：5月28日(日) 午後2時開演  
場所：岩手県民会館(盛岡市) 大ホール

岸田大軍拡をやめさせ  
くらし優先の県政を実現しましょう！

送迎バスを準備します。希望者は奥州市委員会まで連絡下さい。



弁士：小池晃参議院  
党書記局長

千田みつ子県議  
も挨拶します。